

かすみがうら市議会運営委員会会議録

平成29年6月6日 午前 8時57分 開 会

出席委員

委員長	小座野 定 信
副委員長	川 村 成 二
委員	矢 口 龍 人
委員	小松崎 誠
委員	田 谷 文 子
委員	岡 崎 勉

欠席委員

な し

委員外議員

議長	中 根 光 男
副議長	古 橋 智 樹

出席説明者

な し

出席書記名

議会事務局長	前 島 嘉 美
議会事務局長補佐	神 野 厚
議会事務局	齋 藤 邦 彦

議 事 日 程

平成 29 年 6 月 6 日（火曜日）午前 8 時 57 分 開 会

1. 開 会
2. 議長あいさつ
3. 協議事項
 - (1) 平成 29 年第 2 回定例会の運営について
 - ①議事日程（案）について
 - (2) その他
4. 諮問に対する答申（案）について
5. 閉 会

開 会 午前 8 時 57 分

○小座野定信委員長

早朝より、委員の皆様にはお忙しい中お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。
ただいまの出席委員数は 6 名で、会議の定足数に達しております。
会議は成立いたしました。
それでは、ただいまから議会運営委員会を開きます。
議長が出席されております。ごあいさつをお願いいたします。

○議長（中根光男君）

おはようございます。
開会に当たり一言ご挨拶申し上げます。
委員の皆様方におかれましては、何かとお忙しい中、大変ご苦労さまでございます。
本日は、4 月 19 日に貴委員会に諮問させていただきました平成 29 年第 2 回定例会の運営につきまして、引き続きご審議賜りますようよろしくお願いいたします。
以上です。

○小座野定信委員長

ありがとうございました。
次に、書記を指名いたします。議会事務局、齋藤係長を指名いたします。
本日の日程は、お手元に配布いたしました会議次第のとおりであります。
それでは、早速、本日の日程事項に入ります。
議事日程（案）についてを議題といたします。
本日の議事日程（案）につきましては、本定例会会議録署名議員の指名、会期の決定の後、平成 28 年度の繰越明許費繰越計算書の報告のほか、地方自治法第 180 条第 1 項の規定による市長の専決処分の報告、議案の上程となります。
また、日程第 5 におきまして、選挙管理委員会委員及び同補充委員の選挙を行います。この選挙の方法につきましては、先例により、議長からの指名推選となります。
以上が終わりますと、本日は散会となります。
次いで、議事日程（案）第 2 号から第 4 号までの 3 日間は、一般質問でございます。
次に、議事日程（案）第 5 号につきましては、本日予定されます各議案等に対する議案質疑の後、

仮称平成 29 年第 2 回定例会議案審査特別委員会を設置し、これに市道路線の認定を除く 6 件の議案等を付託いたします。また、市道路線の認定に関する議案につきましては、産業建設委員会に付託したいと思います。

次に、議事日程（案）第 6 号につきましては、議案審査特別委員会並びに産業建設委員会に付託されました議案等、委員長報告、討論、採決の後、閉会中の所管事務調査を議決して、第 1 回定例会は閉会となります。

なお、本定例会の最終日に、教育委員 2 名、固定資産評価審査委員会委員 4 名並びに人権擁護委員の 3 名の任期満了に伴う人事案件 9 件の議案が追加提出される予定となっております。

お諮りいたします。以上のとおり、本定例会の議事日程とすることよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小座野定信委員長

それでは、そのように決定させていただきます。

次に、諮問に対する答申（案）についてを議題といたします。

答申（案）のデータをタブレット端末にお送りいたします。

暫時休憩いたします。

休 憩 午前 9 時 0 2 分

再 開 午前 9 時 0 3 分

○小座野定信委員長

再開いたします。

答申（案）に対する御意見等につきましては、お目通しいただいた後にお伺いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、答申（案）をお目通し願います。

ここで暫時休憩といたします。

休 憩 午前 9 時 0 3 分

再 開 午前 9 時 0 3 分

○小座野定信委員長

それでは、会議を再開いたします。

これから、答申（案）につきましてご意見またはお気づきの点がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小座野定信委員長

ご意見等はないようですので、ここでお諮りいたします。

本案のとおり議長に答申し、当委員会終了後に開催されます全員協議会で報告したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小座野定信委員長

それでは、そのようにさせていただきます。

以上で本日の日程は全て終了いたしますが、そのほかございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

先ほど暫時休憩時において、矢口委員のほうより、千代田中学校区統廃合に関する特別委員会の設置ということについてお尋ねがあったので、皆様にお諮りしていきたいと思います。

いかがでしょうか。

矢口委員。

○矢口龍人委員

先ほど小座野委員長のほうから、ちょっとお話がありましたとおり、所管の委員会である文教厚生委員会の委員長もおりますので、委員会の動きが要するに少しわかりづらいというか、やはり大変重要な問題だと思うんで、もっときっちり調査していかないと、もう、先日もお話があったように、これから5年もたらだらやっていこうかなんていう、そんなスタンスで行政がいるというのは非常に不安ですよ。もう、要するに、5年もたったら今の子どもたちはみんな卒業していなくなっちゃうわけだから、そういう子どもたちの父兄にどうですかなんてアンケートなんかとってもらって、寝ぼけたことやっているんだから、私は全くこれは行政側の怠慢だと思いますよ。

だから、そういう部分で、私は、文教厚生委員会でもっともっときっちり調査してやるべきだと思いますよ。ただ、今までの段階で全くそういったスタンスが見えないんで、やはりこれはこのままにしておくのはちょっと問題じゃないかなという思いで、今、発言したわけなんですけれども。

委員長さんはどういうふうにお考えですか。

○小座野定信委員長

田谷委員。

○田谷文子委員

文教厚生委員会でも臨時の委員会を開いて、以前よりは綿密に委員会は開いているような私は気がしていますし、突っ込んだ議論もしていますけれども、執行部とすると、いつも空回りというか一定のスタンスがないんですね。だから、それを今、追及しているところですので、その特別委員会を含めて私ども文教厚生委員会も一緒になってやっていって、それで、最短で学校を統廃合できるようなそういう道筋をつけたいと私も思っておりますので、よろしくお願いします。

以上です。

[委員長交代]

○川村成二副委員長

小座野委員。

○小座野定信委員

私も一議員として発言させていただきますと、文教厚生委員会が所管ということは重々わかっております。

それで、ことしですか、坪井市長もやっと重い腰を半分上げ、千代田中学校にという決意を申し述べ、市民の耳に届いたところであります。

そういった中で、文教厚生委員会としても一生懸命執行部の尻をたたきながらやってくださっているということは伺っているんですが、多勢に無勢という言葉がありますけれども、5人の委員さん、委員長、一生懸命なのはわかるんですが、5人の委員さんでやるよりも議会全体として、議員全体として執行部に急がせる、そういった形も必要ではないかなというふうに思うところあります。

また、千代田中学校反対派のほうを見ますと、その親分をやっている方の息子さんが役場の職員な

んだよね。中学校脇の公民館、講堂でやったときなんかは、後ろで大きな声を出しながら反対と一生懸命やっていたような、私も覚えているんですけども、せっかくそういうふうに分の息子とは別だというふうに言っても、そういう反対の声もありますけれども、逆に早くしろという声なども聞いていますので、いかに市長のけつをたたくのが我々の仕事かなというふうに一応感じるんで、特別委員会を設置して、その中で皆さんのお力をかりながら統廃合を早期実現に向けるというのが一番ではないかなというふうに思います。

○川村成二副委員長

委員長、戻します。

○小座野定信委員長

田谷委員。

○田谷文子委員

すみません。

この議運でお話ししていいかどうか、ちょっと、皆さんのお力をおかりしたいなと思うんですけども、実は今回、何人かの一般の市民の方から私のところに電話がありまして、以前、市の要職であった方が、また十億、二十億とかけて金もないのに統廃合のその校舎を建てるのかというようなことで疑問が上がっていると。だから今の志筑の小学校でいいんじゃないか、そこを統廃合校としてやったらいいんじゃないかという、そういう意見が出てきているのも事実なんですね。ですけども、市長も大転換をしまして、千代田中に小中一貫校、その設計に今至るに当たりまして、小中一貫であるのか、それを聞きますと、中学校に校長、教頭、統廃合校に校長、教頭ということで、せっかくの一体の敷地でありながら、一体型の義務教育学校をつくるというような、そういうスタンスはないように感じているんですよ。

そのようなことから、あした私が質問はいたしますけれども……

○小座野定信委員長

田谷委員、ちょっと方向が違うよ。方向が全然違う。特別委員会があったほうがいいのか、文教厚生委員会で諮るのかということだけだから。要点だけを踏まえてお願いします。

○田谷文子委員

わかりました。

ですので、そういうこともありますので、議員全体の総意だよということで推し進めていただくためにも特別委員会をぜひ設立していただきたいなと、そのように感じています、私も。

○小座野定信委員長

川村副委員長。

○川村成二委員

議員全体の総意というよりも、市の方針としては、統合小学校を千代田中学校区に設けるということとはもう決められているわけですよ。その方向でいくわけですよ。

だから特別委員会を設ける目的をやっぱり明確にしないと、我々、私はその文教厚生委員ではないので、文教厚生委員会でどんなことを論議して、どんな資料をもらって、どこまで把握しているのかというのは、文教厚生委員以外はわからないわけですよ。であれば、この前の全員協議会で配布された資料のあと、統合小学校の設立があと5年、平成34年でしたか、になりますよという資料をいただいた。それがもっと早くできるじゃないの、そのために特別委員会を開くのであれば、全員、こう、わかりやすいんですね。

ところが、その経過までを踏まえた内容についてその特別委員会でいろんなことを詰めていくというのは、私はもう、前を向いてどう統合小学校をやるかという形に整理しないと、なかなか一本化できないんじゃないのかなと思うんですね。

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

それ、なんで私がそんな委員会に対して疑問を持ったのかというと、委員長が学区審議会に出ていて、答申（案）が出ちゃったと、出すと言ってもいないでいきなり答申（案）が出ちゃったなんて、そんな、委員で行っているのに、要するに理解できない状態で答申（案）がぼんと出たなんて、そんな話聞くと、全く、どういう状態の中でそういう会議が行われているのかということがすごく疑問なわけですよ。だって委員長行っていて、委員長わからないのにいただいちゃったなんてやっているわけだからさ。

それは、やっぱり非常にそういう部分が、私は、やっぱりきちっと、もう少し行政側も、ちゃんと時系列じゃないけれども、きちっとやっぱりことを進めていかないと、また、さっきの話じゃないけれども、戻ったり何だりということになっちゃうんで、そのためにも、やっぱりもう少しきちっと議会のほうで監視するといったらおかしいけれども、これは当然、監視したり何だりするのも議会の仕事ですから、私は必要じゃないかなと。

確かに、学校をつくることが目標ですから、だから、これは先ほどおっしゃるように、早くよくつくってもらうというのが大原則で私はいいと思いますよ、それは。ただ、途中経過もやっぱりちゃんと監視していないと、今言ったように、何かどこでどういう議論がなされて、とにかく志筑か千代田中学校かで何年か前からもめていましたけれども、これも要するに何が一番ネックかといったら、学区審議会の答申がひっかかっている、あれのおかげで振り回されちゃったわけですから。あれが、何といったっけ……

[「事前の策」と呼ぶ者あり]

○矢口龍人委員

事前の策とか……

[「耐震ができていないか」と呼ぶ者あり]

○矢口龍人委員

何とかの策だなんて、わけのわからない答申（案）を出して、それで振り回されちゃったのが現実なんですよ。だから、やっぱり、もう少し……

○小座野定信委員長

川村委員。

○川村成二委員

矢口委員の言われることもわかるんです。審議会に参加していて答申書を出すのに、答申の最終版が出るときに連絡がなかった。私もほかのいろいろな委員会出ていますけれども、答申書をつくる段階で打ち合わせをやって、この内容でいきます、ただ問題があれば訂正するということで、最終的に発信するときには連絡はないです。ただ、しますよという話は委員に説明されているわけですよ。だから、委員に連絡なしに答申書を出してしまったということがもし問題であれば、それは文教厚生委員会で整理すればいいことなんですよ。我々議員が全部集まって、それはおかしいじゃないかということではなくて、それはもう、文教厚生委員というのはこれ常任委員会ですから、そこで審議して

整理できる内容だと思うんですよ。

もう一つあったその文言で、事前の策だ何だ、それも整理して千代田中学校に統合するということで方向性は決まっているんですよ。それをさらに掘り下げていって、その言葉がおかしいということをやれば、何を論議するのかな。目的が私はわからないんですよ。それをまた議題に上げたとすれば、時間がかかってしまって、もう、先に進まないと思うし、もう新しい答申書は今回出たわけですから、まず、それで、田谷委員長がひっかかっていたその答申書の発行の仕方の問題をまず一回整理してもらって……

○小松崎委員

無視されているわけじゃないよ。絶対、承諾しているんだから。

○川村成二委員

だから、その辺の整理はあってやらないと。その特別委員会を開いても、みんな違う方向から論議しても進まないような気がするんですが。

○小座野定信委員長

今、川村委員が言ったように、執行部は5年後ということで答えは出ているわけね。だから、この5年後という答えが出るまでの前のこと、下積みの段階のことは、今さら掘り下げてどうのこうの執行部に言っても、もう終わったことだからしょうがないことだと。だから、5年という目標に対して我々、矢口委員も私も遅いじゃないかと。もっと早くできるわけだよということを言いたいのために、私は、この特別委員会というのが必要になってくるんじゃないかなと思うんですよ。だから……

〔「それについて、ちょっと」と呼ぶ者あり〕

小松崎委員。

○小松崎 誠委員

議員全体じゃなくて、前にもいろんな委員会、特別委員会を設置したときがあったと思うんですが、とりあえずは少人数でやっていくということでそういう委員会を立ち上げたことがあったと思うんです。ですから、方法はまた皆さんのご意見を伺いますけれども、常任委員会を中心として、例えば各常任委員会の委員長、副委員長が参加して、とりあえずは今みたいな具体的にどう進めていくかの進め方もやったり、それから、まだまだ課題があるわけで、この市は、霞ヶ浦地区が統合できて千代田地区が統合できていないという、その全体の条例というのが、教育の条例ができていないんです。でも、まず条例を整備して、それから統合なら統合でいいですよ。それで小中一貫校でいいんです。

ところが、小中一貫校が今度、千代田地区だけで進めちゃうと、霞ヶ浦の人が、今まで統合に賛成していたけれども、うちのほうは……

○小座野定信委員長

小中一貫にしちゃうと、今度、万が一、人口流動がふえて、万が一ですよ、中学校、小学校を分けてくちやならないというときに困っちゃうんですよ。

○小松崎 誠委員

そうなんです。だから段階を踏んで……

○小座野定信委員長

統合小学校がなぜいいかというと、メリットよりもデメリットのほうが大きいんです。

○小松崎 誠委員

私の話が途中で終わっちゃったけれども。そういうことなんですよ。だから、一応平準化する、霞ヶ浦地区も千代田地区もスタートは統合して、とりあえずは一つの学園で1クラスはやめようよと。

それをまずやってから……

○小座野定信委員長

それは我々が論じることではないよね、時期尚早であって……

○小松崎 誠委員

我々は教育環境を整えるのが議員の役目であって、教育方針は先生方に任せればいいんですよ、それは。それを強い住民の要望があったら、市長の判断で一貫校にしてもらえばいいわけであって。あくまでも、こっちは教育環境を整えるというのが議員の仕事だから、そこまで教育のことに立ち入ることはおかしいと思う、俺は。と思います。

以上、私は終わり。

○小座野定信委員長

田谷委員。

○田谷文子委員

教育環境とかいろいろな面で、今、古橋議員もおりますけれども、新治学園義務教育学校を視察に行って、土浦市のいろいろなスタンスを聞いてきたんです。勉強してきました。それは教育委員会も同行しています。

○小松崎 誠委員

ちょっと待って。その話は、また次の話だよ。

○田谷文子委員

だから、一貫校とそれから……

○矢口龍人委員

田谷さん、とりあえず、ほら、田谷さん、特別委員会をどういうふうにつくるか、それをやらなければならない話だから。

○小座野定信委員長

問題は提起したけど、特別委員会をつくったほうがいいのか、文教厚生委員会のほうに任せておけばいいのかということだから、風呂敷をこう広げちゃうと、ちょっと俺も閉じ切れなくなっちゃうんで、ちょっと、今のことはまた違う時間に。

○矢口龍人委員

自分の委員会で文教厚生委員会でやればいいんだよ。

○田谷文子委員

勉強したよ、それはやった。

○小松崎 誠委員

ここで披露しなくても。

○小座野定信委員長

それはまた。

だから、どうしましょう、岡崎さん、何かご意見ありますか。

○岡崎 勉委員

結局、建設でやっぱり2年かかりますよね。例えば校舎を作る場合でね。そうすると、やっぱり身近な人たちには切実な問題だよ。3年間かそれを早めるということは、その辺は文教厚生委員会のほうに任せてもらって、それでやったほうがいいのか。もしそれで、どうしてもだめであれば特別委員会を設けてもいいけれども、問題はそこだけですよね。

○小座野定信委員長

問題は、まだ、ほら、この間の説明によると、その反対勢力、反対している人がいるから、それが理解してからスタートというふうに俺はとったんですけども。

だから私が言っているのは、ちょっと言葉足らずだったんですけども、その反対勢力の人たちを説得するのは、この間もかなり強く市長に言いましたからね。もう市長の部屋の中で言いましたけれども、もう、市長のトップセールスしかないんですよ。それで、そのトップセールスするに当たっても、やはり執行部の考えも議会の考えも一つだと。これはもう市全体の希望として、もう千代田中学校のところに小学校を統合するんだという意思が、もう行政も議会も一緒になっているよという形を見せたいんですよ。だから、決して坪井市長の足を引っ張ろうとか、やめさせるために特別委員会をつくって、そこで戦うんだとか、そういう気持ちはさらさらないですよ、俺は。

○岡崎 勉委員

ちょっと話したかもしれないですけども、その志筑の方々の反対派、それもきちっと説明すれば、志筑の人らも理解はしているんですよ。結局は、人数が少なくなって後から統合というのも子どもたちかわいそうだという。場所的にも、これもう、この横堀と大峰とかといったら、もうすぐ近くでしょう。

それから栗田・高倉にしてみれば遠くなっちゃうんで……

○小座野定信委員長

でも、スクールバスは出ますよ。

○岡崎 勉委員

そういうことで、一部の案ですので、ですから、まるっきりこちらの説明の仕方が悪いんで、ああいうことが出てくると思うんですよ。私も、去年の暮れからずっと歩いて話したんですけども、そういう、実質的には執行部の方向で進めますよというのは、ある程度の人、役員の方々は理解していただいていたと思っています。ところが、ここへ来てまたそういう話が出たんで、ちょっと今、私も調べてはいるんですけども。多分、本音としては、そういうことはあると思います。

○小座野定信委員長

わかりました。

ちょっと時間があれですので、途中で話をちょっと折っちゃうのも残念なんですけど、ちょっと時間の関係上、まだまだ意見が重なると思うんですけど、ここで閉じたいと思います。

以上で本日の議会運営委員会を散会といたします。

ご苦労さまでございました。

散 会 午前 9時23分

かすみがうら市議会委員会条例第 30 条の規定により署名する。

議会運営委員会委員長 小 座 野 定 信